

令和 8 年 8 月 28 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 5 9 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報
2. 「令和 8 年度 病虫害発生予報第 6 号」（令和 8 年 8 月 5 日(水)付け）を発表しました
3. 担い手向けに機械導入等を支援！！地域農業構造転換支援事業の要望調査を実施中！！
4. 新規就農者向けに機械導入等を支援！新規就農者チャレンジ事業の要望調査を実施中！
5. 全国トレーニングファーム推進協議会の第 1 回総会を開催します！
6. 農業参入に関する情報を提供する「農業参入ポータル」を開設！
7. (みどり戦略技術紹介)いもち病抵抗性に優れる極早生牧草

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

1. 豪雨や台風等の風水害に備えるための予防減災情報

近年、豪雨や台風等の大規模な自然災害が頻発し、農林水産業に甚大な被害が発生しています。そこで、農林水産省では農林漁業者の皆さまが、豪雨や台風といった風水害に備えるためのポイントを、分野別にイラストや簡潔な文章でまとめています。気象情報の確認、清掃・点検・補修等を実践し、豪雨や台風襲来に備えましょう！

人命第一の観点から、暴風雨、異常出水時においては、状況が収まるまで施設等の見回りは行わないようにしましょう。また、暴風雨等が治まった後の見回りについても、増水した水路その他の危険な場所には近づかず、足下等、施設周辺の安全に十分に注意し、転落、滑落事故に遭わないよう慎重に行いましょう。

農林水産省では、農業者の皆様が自然災害等への備えに取り組みやすくなるよう「自然災害等のリスクに備えるチェックリスト」と「農業版 BCP（事業継続計画書）」のフォーマットを作成しています。

ぜひ、積極的にご活用いただき、自然災害等への備えに活かしてください。

■ 分野別の予防減災情報

リンク先サイトのイラストをクリックすると、詳細ページに移行します。(農林水産省 HP)

→ https://www.maff.go.jp/j/saigai/taisaku_gaiyou/yobou_gensai.html

■ 関連情報 (リンク)

◇ 現在発表されている気象警報・注意報の情報はこちら (気象庁 HP)

→ <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>

◇ 自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版 BCP はこちら (農林水産省 HP)

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

◇ 農業保険について詳しくはこちら (農林水産省 HP)

→ <https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房地方課災害総合対策室 (担当：竹中、笠井)

TEL：03-6744-2142 (直通)

2. 「令和8年度 病害虫発生予報第6号」(令和8年8月5日(水)付け)を発表しました

農林水産省は、今後の農作物の病害虫発生動向や防除について「令和8年度病害虫発生予報第6号」を発表しました。

気象庁の向こう1か月の予報(7月30日付け)では、気温は、全国で高いと予想されています。特に、北日本、東日本及び西日本では、期間の前半は気温がかなり高くなると見込まれています。降水量は、北日本、東日本日本海側及び西日本日本海側で平年並か少ない、東日本太平洋側及び西日本太平洋側でほぼ平年並、沖縄・奄美で多いと予想されています。日照量は、北日本、東日本日本海側及び西日本日本海側で平年並か多い、東日本太平洋側及び西日本太平洋側でほぼ平年並、沖縄・奄美で平年並か少ないと予想されています。

水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

野菜・花きでは、オオタバコガ及びシロイチモジヨトウの発生が、北関東等の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北関東、中国、四国及び南九州の一部の地域で多いと予想されています。

この他、いちごのうどんこ病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

◇ 「令和8年度 病害虫発生予報第6号」の発表について（令和8年8月5日(水)付け農林水産省プレスリリース）はこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260805.html>

※ 都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

◇ 都道府県の病害虫発生予察情報などはこちらから（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：国内防除第2班）

TEL：03-3502-3382（直通）

3. 担い手向けに機械導入等を支援！！地域農業構造転換支援事業の要望調査を実施中！！

地域農業構造転換支援事業は、地域の中核となって農地を引受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械・施設の導入を支援する内容となっており、地域や担い手の状況に応じて、幅広い担い手の方が活用できる事業となっております！

■ 主な事業要件

- ・ 補助率：3/10 以内
- ・ 補助上限額：個人 1,500 万円以内、法人 3,000 万円以内
- ・ 対象者：地域計画に位置付けられた担い手
- ・ 成果目標（以下のいずれか1つを認定）
 1. 経営面積の3割又は4ha以上の拡大
 2. 付加価値額1割以上の拡大
 3. 労働生産性3%以上の向上

現在、要望調査を実施しておりますので、本事業に御関心がある方、御活用を検討される方は、お住まいの市町村に事業の内容、申請期限等を御確認ください！！

◇ 事業の詳細はこちらから（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7_chiiki_nougyou/251223.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局経営政策課担い手・法人総合対策室（担当：担い手支援第1班）

TEL：03-3502-6444（直通）

4．新規就農者向けに機械導入等を支援！新規就農者チャレンジ事業の要望調査を実施中！

新規就農者チャレンジ事業は、地域農業の構造転換に向けて、新規就農者が早期に経営発展するために必要な農業用機械・施設の導入等の取組を支援する事業です！

○ 対象者：認定新規就農者（独立・自営就農時 65 歳未満）

○ 補助対象

- ・ 農業用機械・施設の改良又は取得（中古含む）
- ・ 農業用機械・施設等の修繕・移設・撤去
- ・ 家畜の導入
- ・ 果樹・茶の新植・改植
- ・ 農業用機械のリース導入 など

○ 補助上限額：個人 1,500 万円以内、法人 3,000 万円以内

○ 補助率：3/10 以内

○ 成果目標（以下のいずれか 1 つを認定）

- 1．経営面積の 3 割以上の拡大
- 2．付加価値額 1 割以上の拡大
- 3．労働生産性 3 %以上の向上

10 月までの毎月末締めで申請を受け付けておりますので、本事業にご関心がある方、ご活用を検討される方は、お住まいの市町村の農政担当部局までご相談ください。

◇ 事業の詳細はこちらから（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/challenge.html

◇ お問い合わせ先

お住まいの市町村の農政担当部局

5. 全国トレーニングファーム推進協議会の第1回総会を開催します！

農林水産省は、全国各地におけるトレーニングファーム（研修農場）の設置を推進するため、「全国トレーニングファーム推進協議会」を設立しました。このたび、当協議会の周知とともに、取組の輪を広げるため、令和8年9月15日（火）に総会及び交流会を開催します。開催概要は以下のとおりとなっています。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■ 開催概要

日 時：9月15日（火）13:30－16:40 ※オンライン開催（Microsoft Teams）
（総会：13:30－15:40、交流会：15:50－16:40）

参加費：無料

主 催：農林水産省経営局就農・女性課、一般社団法人全国農業会議所

■ プログラム

総会：・協議会の活動について

- ・農林水産省の施策紹介
- ・トレーニングファームの事例発表

（発表者：島根県美郷町、長野県佐久穂町、（有）中条農産、（株）野崎ファーム）

交流会 ※会員限定

◇ 参加申込はこちらから（農林水産省 web 申込フォーム）

→ <https://forms.cloud.microsoft/r/mH1BnMZaee>

※申込期限：9月9日（水）17:00 まで

◇ 開催内容等の詳細はこちら（「全国トレーニングファーム推進協議会」の第1回総会を開催します！（令和8年8月20日（木）付け農林水産省プレスリリース））

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/260820.html>

◇ 会員申込（協議会専用サイト）についてはこちら（全国新規就農相談センターweb）

→ <https://www.be-farmer.jp/trainingfarm/>

◇ 協議会についてはこちら（農林水産省 web）

→ https://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_kyoiku/yuuti/tfkyougikai.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局就農・女性課（担当：農業教育グループ）

TEL : 03-6744-2162 (直通)

6. 農業参入に関する情報を提供する「農業参入ポータル」を開設！

農林水産省では、農業参入を検討する企業等に対し、農業参入する際に参考となる情報を一元的に提供し、農業参入希望法人と担い手を誘致したい自治体をマッチングする Web サイト「農業参入ポータル」を開設しました。

本ポータルでは、農業参入に関する各種情報（相談窓口、イベント、支援施策、参入事例等）を掲載しています。また、本年 11 月には参入可能な全国の農地情報も公開するとともに、法人会員向けの情報発信を行う予定です。

現在、本ポータルの全面公開に先駆けて、事前の法人会員登録（無料）を受け付けています。

会員登録いただくことで、会員限定の農地情報の閲覧が可能となるほか、希望に応じた農業参入関連情報をプッシュ型で受け取ることができるようになりますので、ぜひ、ご登録ください。

また、自治体の皆様におかれましては、受け手不在農地の情報をご登録※いただくことで、参入希望法人への効果的な情報発信や誘致につながりますので、ぜひご登録ください。

なお、事前登録を希望する場合は、都道府県又は地方農政局担い手育成課にお問い合わせください。

※農地登録は 2026 年 11 月開始予定

◇ 農業参入ポータルはこちら

→ <https://sannyu-portal.maff.go.jp/>

◇ 法人会員登録は農業参入ポータルトップページもしくはこちらから

→ https://script.google.com/macros/s/AKfychzevbBQg9bVJLT_8C3zA1RUIKe-PsMUfeVq5iG5yf45mJl7VPmkVRfv7b_SOLAgT_1E/exec

◇ お問い合わせ先

農業参入ポータル運用担当者：サグリ株式会社

MAIL : sannyu-portal@sagri.co.jp

7. (みどり戦略技術紹介)いもち病抵抗性に優れる極早生牧草

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、みどりの食料システム戦略の実現に向けて、現場への普及が期待される技術をご紹介します。

今回は、いもち病抵抗性に優れる極早生イタリアンライグラス「Kyushu 1」についてです。

イタリアンライグラス「Kyushu1」はいもち病抵抗性が強く、いもち病が発病しやすい9月（気温 22℃以上で発病が促される）に播種しても、既存品種「さちあおば」よりも安定的に12月から1月に年内草を収穫、4月上旬までに再生草を収穫でき、早期から夏作物の栽培が可能となる品種になります。

本技術により通常播種(10月～11月)のイタリアンライグラスや飼料用イネとの作業分散ができます。なお、9月上旬での播種、または3kg/10a以下の播種量では、夏雑草に覆われる恐れがあります。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：畜産) (PDF：7,447KB) p.25

いもち病抵抗性に優れる極早生イタリアンライグラス「Kyushu 1」(農林水産省 Web)

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/08_midori_catalog5_animal.pdf#page=25

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(農林水産省 Web)

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室(担当：推進班)

TEL：03-3502-3162(直通)

◆◆◆編集後記◆◆◆

大規模な地震の発生や台風の襲来が相次いでいます。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、早期の営農正常化を願っております。

さて、自然災害、大事故や感染症などが発生した場合に、中核となる事業を継続させたり、可能な限り短時間で事業を復旧させるための方法や手法をあらかじめ決めておく BCP(事業継続計画)という考え方があります。本号の1番目の記事にも記載していますが、農林水産省では農業者の皆様が BCP を作成するきっかけとなるよう、実際の災害事例や BCP を

